

箕面市立老人いこいの家指定管理候補者選定会議 議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時 令和3年9月13日(月) 午前9時53分から12時まで
- (2) 開催場所 箕面市役所 第三別館2階 会議室
- (3) 出席者 尾川正洋(人権文化部長)【会長】
加藤玲子(総務部長)【副会長】
北村 清(健康福祉部長)
柳原健治(公認会計士・税理士)
高田一宏(有識者・萱野老人いこいの家のみ)
足立君子(有識者・桜ヶ丘老人いこいの家のみ)
- (4) 事務局 人権文化部担当副部長・藪本、人権文化部人権施策室長・濱口、同室参事・寺島、同室参事・村田、健康福祉部高齢福祉室長・長谷川

2. 議事概要

A. 萱野老人いこいの家

- (1) 当日スケジュール及び評価等について
事務局より下記のとおり説明を行った。
＜当日スケジュール＞
 - 1. 応募者によるプレゼンテーション(15分)
 - 2. ヒアリング(15分)
 - 3. 採点、集計
 - 4. 合議による選定
＜採点方法＞
応募書類及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえて採点する。評価者一人あたりの持ち点は300点とする。
- (2) 福祉サービスよってんかの提案内容プレゼンテーションについて
応募者である、福祉サービスよってんかよりプレゼンテーションが行われた。
- (3) ヒアリングにおける主な質疑について

(質問) 今回は桜ヶ丘老人いこいの家の指定管理者にも申込をされているが、人材の確保をどのように考えているか。

- (回答) 桜ヶ丘老人いこいの家の人材確保については、地域精通者に対して声をかけている。
- (質問) 男性利用者が少ないのが課題とのことだが、どんな解決策を考えているか。
- (回答) 自身の得意分野で力を発揮してもらえることがよいと考えており、現在声かけを行う取組を行っている。
- (質問) 利用者からの評価で気になることや苦情などはないか。街かどデイハウス事業を含めて、もしあれば。
- (回答) 照明が暗いとか和室で体操をするときにすべりやすいとの意見があったが、市が改修したことにより解決した。
この間、新型コロナウイルス感染拡大の関係でできないこともあったが、この機会に他の場所がなくなったため、新たにいこいの家に来られたかたもおられる。
このことから、歩ける範囲で安心して行ける場所が必要で、常設の大切さを感じる。
- (質問) コロナ禍で閉じこもりがちだということはないか。
- (回答) 利用者を訪問や電話で確認したところ、皆さん思ったよりは元気であった。
コロナ禍で生活様式が変わったが、別の活動をしているからだと思う。
- (質問) 苦情処理要領（マニュアル等）が無いようだが、苦情があった場合どのように対応しているのか。
- (回答) 苦情に対しては、ケースバイケースで対応しているが、解決までに時間がかかる苦情に対しては、団体内で共有し、継続的に協議している。
今後は、苦情処理のルール化を検討したい。
- (質問) 委託料の協議について応じることは可能か。
- (回答) 可能である。

(4) 各評価者の主な意見

* 今までの実績も十分で、安心して任せることができる。

コロナ禍の中で色々な生活課題があると思うが、男性の孤立に対する取組にも期待したい。

(5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション、ヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は下記のとおりとなった。

評価点数	1, 061点	／	1, 500点
(構成員平均	212点	／	300点)

上記点数に基づき判断した結果、福祉サービスよつてんかは箕面市立萱野老人いこいの家指定管理者の候補者として適任である。

B. 桜ヶ丘老人いこいの家

- (1) 当日スケジュール及び評価等について
事務局より萱野老人いこいの家と同様の説明を行った。
- (2) 福祉サービスよってんかの提案内容プレゼンテーションについて
応募者である、福祉サービスよってんかよりプレゼンテーションが行われた。
- (3) ヒアリングにおける主な質疑について
- (質問) 行政書士によるエンディングノートの書き方を教えるとの説明があったが、個人情報漏洩の心配はないか。
- (回答) この講座では個人情報は取り扱わないが、個別に相談があれば守秘義務は徹底する。
- (質問) 桜ヶ丘老人いこいの家のこれまでの活動の積み上げを尊重してほしい。利用者のニーズを聞いて、自主的に活動できるよう、意見を言いやすい環境づくりをしてほしい。
- (回答) まずは職員と利用者の関係づくりから始めたいと思う。
- (質問) 様式1-1において、2人は老人いこいの家の従事者との記載があるが、両老人いこいの家を兼務するのか。
- (回答) 両老人いこいの家を兼務することはない。
- (質問) 今までの桜ヶ丘老人いこいの家のノウハウを、どのように継承するか。
- (回答) 例えば、囲碁は萱野でもやっているが、指定管理者間で今後、具体的に詰めていきたい。
- (質問) 地震の際の訪問活動の話が出たが、生活支援の心がけは。
- (回答) 民生委員と共にまわり、顔つなぎだけでも大切だと思っている。
- (質問) 街かどデイハウスは、桜ヶ丘では実施するか。
- (回答) 基本的には、現状を引き継ぐことを考えているので、街かどデイハウスは今後の検討課題としたい。
- (質問) 委託料の協議について応じることは可能か。
- (回答) 可能である。
- (4) 各評価者の主な意見
- * 福祉サービスよってんかには、これまでにない取組をしてほしいと思っている。今後期待したい。
 - * リリーフ・みのおとの引き継ぎをしっかりとしてほしい。その上で、福祉サービスよってんかには、何か新しいことをしてもらえると期待している。
- (5) 選定会議としての結論
応募書類、プレゼンテーション、ヒアリングに基づき評価した結果、評

価点数は下記のとおりとなった。

評価点数 1,000点／ 1,500点
(構成員平均 200点／ 300点)

上記点数に基づき判断した結果、福祉サービスよってんかは箕面市立桜ヶ丘老人いこいの家指定管理者の候補者として適任である。